

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【公表番号】特表 2009-503854 (P2009-503854A)
 【公表日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-004
 【出願番号】特願 2008-523984 (P2008-523984)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/66 (2006.01)

G 0 1 R 31/26 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/66 B

G 0 1 R 31/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 12 日 (2009.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プローバに対してテストヘッドを配置するための装置であって、
 フレームと、

第 1 及び第 2 の細長いリードスクリュウ (elongate lead screws) であって、各リードスクリュウは、一端が前記フレームに枢着 (pivotably coupled) され、第 1 リードスクリュウは、第 1 ピボット軸の周りでピボット運動でき、第 2 リードスクリュウは、第 1 ピボット軸に平行に延びる第 2 ピボット軸の周りでピボット運動でき、第 1 及び第 2 のリードスクリュウは、第 1 及び第 2 の各回転軸の周りで回転可能であり、第 1 回転軸は、第 1 ピボット軸に垂直に延び、又、第 2 回転軸は、第 2 ピボット軸に垂直に延びるような第 1 及び第 2 のリードスクリュウと、

前記第 1 リードスクリュウに回転可能に結合された第 1 端部、及び前記第 2 リードスクリュウに回転可能に結合された第 2 端部を有するリンクと、

前記第 1 回転軸の周りで第 1 及び第 2 の互いに逆の方向に前記第 1 リードスクリュウを回転すると共に、前記第 2 回転軸の周りで第 1 及び第 2 の互いに逆の方向に前記第 2 リードスクリュウを回転するために、前記第 1 及び第 2 のリードスクリュウに結合された少なくとも 1 つのアクチュエータと、

前記リンクに結合され且つ前記テストヘッドを支持するようにされたアームと、
 を備え、前記第 1 及び第 2 のリードスクリュウを前記第 1 方向に回転すると、前記リンクを前記第 1 及び第 2 のリードスクリュウに対して並進移動させ、前記テストヘッドを前記フレームに対して並進移動させると共に、前記第 1 リードスクリュウを前記第 1 方向に回転し且つ前記第 2 リードスクリュウを前記第 2 方向に回転すると、前記リンクを前記第 1 及び第 2 のリードスクリュウに対して回転し、前記テストヘッドを前記フレームに対してピボット運動させるようにした装置。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのアクチュエータは、前記第 1 リードスクリュウに結合された第 1 アクチュエータと、前記第 2 リードスクリュウに結合された第 2 アクチュエータを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記アームは、前記テストヘッドを前記アームに沿って第 1 及び第 2 の互いに逆の方向に移動するための並進移動メカニズムを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記並進移動メカニズムは、直線的ガイドレールを含む、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記リードスクリューは、ローリング要素スクリュー(rolling element screws)である、請求項 1 に記載の装置。